

事例 1

バン格拉デシュのオートバイ修理店しゅうりてんではたらく
サジアルさんは、14さい。

かあ
お母さんといもうとと3人暮らしです。

か かあ しごと かぞく せいかつ
コロナ禍でお母さんが仕事をなくし、家族3人で生活
かね
していくお金がなくなりました。そこで、サジアル
がっこう
さんが学校をやめてはたらくことになりました。

あさ ばん
いまは、朝から晩まで、オートバイ修理店で仕事を
しています。

ほんとう い
「本当は学校に行きたいけれど…。」

事例2

アフガニスタンのトールハムという町まちでくらす
サディアさんは11さい。

アフガニスタンでは、長い間ながい あいだ、たたかいがつづ続き、
サディアさんの家いえはこわされてしまいました。

家のくらしを助けるため、サディアさんと友だちの
シャキーラさんは、毎日まいにち、パキスタンへの国境をこえてこっきょう
しょうひん商品をはこんでいます。

「大きなトラックにひかれてしまわないように、
気をつけなくちゃ。」

事例3

かずやさんは、学校から帰ってきてから、家族と服を
買いにいきました。

お店には、とてもきれいなピンク色のトレーナーが
売ってありました。

ぼくが好きなタイプで、とてもかっこいいデザインだ
とおもいましたが、

「えっ、ピンクは女の子みたいだから やめなさい。」
と言われて、買ってもらえませんでした。

事例4

みさきさんががっこう学校からかえ帰ってくると、こっそりしまっておいたはずの手紙が、てがみテーブルの上においてありました。

(どうして?) とおも思っていると、おうちの人に、
「みさき、たっくんのことすきなの。」

と言われました。

(えっ、わたしがか書いたお手紙、よかってに読んだの?) と、
わたしは思いました。

事例5

小学校3年生のみささんには、1さいの小さな妹が
います。
いもうと

おうちの人が出かけて帰ってこない時は、ずっと
みささんがミルクをつくったり、おむつをかえたり
しています。
かえ とき

おうちの人が用事で朝からいない時は、みささんは
学校を休んで、妹のお世話をしています。
がっこう やす いもうと せわ

そんな時は、友だちとも遊べません。
とき とも あそ

事例6

小学校3年生のたくまさんは、^{あした}明日、^{がっこう}学校に^い行きたくありません。

どうしてかという^{おな}と、^{おな}同じ^いはんの^あまみさんと^い言い^あ合いになって、「もう、男のくせに ^いいち^あいちうるさい！
だまっ^いといて！」^あと言われて、^い話し^あ合いに^い入れて^あもらえなかったからです。

明日から、^いどう^あしようか^いとな^あやん^いで^あいます。